



青山まこと

議会報告2024年3月号

ごあいさつ

調布市議会議員の青山まことです。昨年6月より議員となり、勉強の日々を送っています。この度第1回定例会が終わりましたので、私が行いました一般質問を中心に、市政をご報告いたします。お読みいただければ幸いです。

プロフィール

調布市議会議員
(一期目：チャレンジ調布所属)
総務委員会
調布飛行場等対策特別委員会
広報委員会
都市計画審議会 所属

令和6年度第一回定例会トピックス

令和6年度一般会計予算を可決!!

一般会計歳入・歳出の総額

1,065 を認定
億円

令和6年度特別会計・公営企業会計を可決!!

特別会計

約
463
億円

公営企業会計

約
76
億円

を認定



令和6年第一回定例会一般質問のご報告

青山の 提案

調布市科学センターの抽選高倍率を是正し、小学生の科学教育を推進

一般質問要約



青山質問

近年、科学・技術・工学・数学に力を注ぐことで国際競争力のある人材を育てるSTEM(ステム)教育、あるいはそこに芸術・リベラルアーツを加えたSTEAM(スチーム)教育の必要性が叫ばれる中、「科学教育」は知的好奇心の刺激や批判的思考の促進、キャリアの機会の拡大から高度な知識基盤社会への貢献に至るまで、多くのプラスの影響があると考えます。市内小・中学校における理科教育について現状どのような具体的な取組が行われているか、また、どのような課題を持っているか。



青山質問

調布市にも科学センターが存在し、市立小学校の科学教育の振興をはかっているが、どのような特色があり、現状どのような具体的な取組が行われているか、また、どのような課題を持っているか。



青山まとめ

ぜひとも定員の拡大に対して予算やマンパワーを割いていただきたい。そのうえで、調布市のHPには科学センターの情報がないため、事業内容や取組みの結果を掲載してほしい。また、科学センターでやるような授業をだれでも一回は受けられるようにしてほしい。

目的意識を持って観察、実験などを行うことで科学的な見方や考え方を養うことを狙いとした教育活動を展開しており、全国学力・学習状況調査では、理科の平均正答率は小・中学校ともに国や東京都を上回る結果となり、日常の学習の成果が現れております。

一方、実験器具の使用目的や正しい扱い方などを実際に触れることで学ぶ、体験的な学習の一層の充実が必要であると認識している。

調布市

市の回答

理科学習において、観察、実験は極めて重要な活動であり、児童が目的を明確に持ち、その結果を表やグラフなどに整理して考察することで、初めて意図的で目的ある活動となる。科学センターでは子どもたちの興味関心を引く魅力ある講座の充実に努めている一方、科学センターは人気の事業であり、毎年度、定員を大きく超える申込みをいただいております。今年度の倍率は4倍を超えるなど、受講できない児童が多く発生している状況が課題である。

調布市長

市長回答

青山要望

より多くの児童に効果的な活動を提供し探求的な学習が一層図られるよう、定員の拡充を図るとともに、広報やプレ体験などにも取り組んでほしい。